2025年度　通信教育実施計画

英語入門

指導目標	英語コミュニケーションⅠへの橋渡しとして、中学前半の英語の基礎的な学習内容を理解する。演習を中心として、文法事項の定着を図る。文法項目に基づいたリスニング問題にも取り組む。

教材	教材：英語入門（本校オリジナルテキスト） レポート 学習ノート（英語入門の学習方法）

レポート	全6回
面接指導	標準時間数：4時間（※面接指導減免8割の学習者の必要時間数は2時間）
放送	全40回（テレビ　WEB視聴可）
到達度チェック・試験	年度末試験（1月）

単位	2単位
評価	【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、および年度末試験での成果にもとづき評価します。 【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、年度末試験での成果にもとづき評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
月	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1 2	**スクーリングでは＜要点のまとめ＞と練習問題のみを扱います。STEP問題、STEP UP問題、リスニング問題は各自で答えをレポートに入力するので、スクーリングでは扱いません。** ①～③ **＜第1講座　be動詞＞** テキストP.2～P.3の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。 ・be動詞(am, is, are)の形と意味を理解する。 ・肯定文と否定文を作成できるようになる。 ・疑問文を作成し、答えるスキルを身につける。 ・簡単な会話の中でbe動詞を使えるようになる。口語英語の実践を行う。自己紹介（例: I am from Japan.）や天気や気分の表現（例: It is sunny. / I am tired.）。 ④～⑥ **＜第4講座　一般動詞＞** テキストP.8～P.9の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。 ・一般動詞とは何か（例: run, eat, play）。 ・主語による動詞の変化（現在形、三単現の -s）。 ・肯定文の構造（例: 主語 + 動詞 + 目的語）。 ・否定文の構造（例: 主語 + do/does not + 動詞）。 ・疑問文の構造（例: Do/Does + 主語 + 動詞+?） ・疑問文に対する応答方法（例: Yes, I do. / No, he doesn't.）。 ・簡単な会話の中で一般動詞を使えるようになる。質問を交えた会話（例: What do you do after school?）、自己紹介や	第1回　大きな声で堂々と！ ■単語を並べてコミュニケーションができる 第2回　気持ちを込めて言ってみよう！ ■自分が感じたことを単語を使って言える	第１回 オンライン学習サポート動画 ・英語入門の学習の仕方 ・第１回レポート範囲 配信	
			3 4		第3回　お願いしよう！注文したい！ ■一語一句文を使って依頼や指示ができる 第4回　人や物について言ってみよう ■isとareを使って人や物について話ができる			
5			1 2		第5回　いろいろと質問してみよう！ ■Are you…?を使って、相手について質問ができる 第6回　これは何？　あれは誰？ ■whatやwhoと、isとareを使っていろいろな質問ができる			
			3 4		第7回　同じ人について言う ■theを使って特別なものであることを表現できる 第8回　いろいろな動きを言ってみよう ■いろいろな動きを表すことができる			
6	第1回 6/10	第1講座 be動詞 【リスニング】 I am~.You are~の文 This is ~. What is ~の文	1 2		第9回　いろいろな動きを質問！ ■いろいろな動きを質問できる 第10回　誰が？　何を？ ■whatを使って「何を」が質問できる			
			3 4		第11回　したいことを言ってみよう ■want toを使って、したいことが言える 第12回　できる！っていうときは ■canを使って、～ができると表現できる 第13回　今よりも前のことを言う！ ■wasやwereを使って以前のことが表現できる		第２回 オンライン学習サポート動画 第２回レポート範囲 配信	
7	第2回 7/5	第4講座 一般動詞 【リスニング】 He is ~. Who~is?の文 一般動詞（１・２人称）	1 2	⑦～⑩**＜第7講座　名詞、代名詞＞** テキストP.14-15の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。 ・名詞の定義（人、場所、物、概念）。 ・単数形と複数形の規則（例: cat → cats）。	第14回　以前やったことを言ってみよう ■edを付けて以前やったことを表現できる 第15回　物語を語ろう！ ■edを付けないで以前の動きを表す語が使え			

7			3 4	・代名詞の役割（名詞を置き換える）。 ・主格代名詞の使い方（例: He is a doctor.）。 ・所有格代名詞を使った文の作成（例: This is my book.）。 ・目的格代名詞を使った文の作成（例: She called him.）。 ・所有各と所有代名詞の違い。（書き換えができる。） ・名詞と代名詞を用いた短い文章を書く。 ・名詞と代名詞を使った日常会話練習。	る 第16回　いろいろな誘い方 ■相手を誘うさまざまな表現が使える 第17回　今やっていることを言ってみよう ■今やっていることが表現できる		
8			1 2		第18回　未来を語ろう！ ■be going toを使って、これからやろうとしていることや、起こることが表現できる 第19回　行動を詳しく伝えたい！ ■～するのが好きだ、嫌いだと言える		
			3 4		第20回　始まりから終わりまで ■startを使って動き始めが表現できる	第3回 オンライン学習サポート動画 第3回レポート範囲 配信	
9			1 2	⑪～⑭ **＜第10講座　疑問詞で始まる疑問文＞** テキストP20-21の解説及び問題演習を行う。以下の項目について理解を深める。 ・疑問詞（what, who, where, when, why, how等）の基本的な意味と使い方を理解する。	第21回　場所や時間を伝えたい！ ■in, on, atを使って場所や時を表現できる 第22回　いつ？ どこ？ ■whenを使って「いつ」なのかが質問できる 第23回　詳しく質問しよう！ ■whatを使って詳しく質問できる		中間到達度チェックは 実施しない。
			3 4	・疑問詞を使わないYes/No疑問文との違い。 ・What, Who, Whose, Where, How, When, What timeを使った疑問文を作れるようになる。 ・疑問詞を使った会話文を作成し、実践的に使う。複数の疑問詞を用いた質問練習（例: What time do you go to bed?）。Howを使った質問で交通手段を尋ねる練習。	第24回　たぶん～かも。 ■mayを使って曖昧に表現できる 第25回　「～みたいに」と伝えたい ■likeを使って、こんなような物と言える		
10	第3回 10/5	第７講座 名詞、代名詞 【リスニング】 一般動詞（3人称・単数） 名詞・代名詞の複数形	1 2	・ペアでお互いに質問し合い、自己紹介形式の短いスクリプトを作成。	第26回　感じたことを言う ■五感で感じたことを表現できる 第27回　比べてみよう ■erを使った比較級		
			3 4		第28回　「いちばん！」って伝えたい ■estをつかって「一番」を英語で言える 第29回　どっちがいい？ ■不規則な比較級・最上級 第30回　壊れたスマホ	第4回 オンライン学習サポート動画 第4回レポート範囲 配信	
11	第4回 11/10	第10講座 疑問詞で始まる疑問文 【リスニング】 形容詞、副詞 疑問詞で始まる疑問文	1 2	⑮～⑱ **＜第13講座　一般動詞の過去形＞** テキストP26-27の解説及び 問題演習行う。以下の項目について理解を深める。 ・一般動詞の役割と過去形の必要性（例: 昨日の出来事を話す）。時制の確認。	■「～されている」と英語で言える 第31回　いつ、どこで～されたもの？ ■いつどこで「～された」のかが言える 第32回　いろんな気持ちを伝えよう ■第３の形を使って「がっかりする」		
			3 4	・規則動詞の過去形のルール（動詞に-edを付ける）。 ・不規則動詞の特徴（変化が一定ではない）。 ・基本的な不規則動詞（go → went, eat → ate, see → saw）。	第33回　「なんで？」と聞きたい ■whyを使って「なんで？」と質問できる 第34回　つなげて言おう ■and, but を使って文をつなぐことができる	第5回 オンライン学習サポート動画 第5回レポート範囲 配信	
12	第5回 12/5		1 2	・過去形で肯定文、否定文、疑問文を作成できるようになる。（基本的に現在形と同じ構造となる。didを用いる点に留意する。） ・自分の昨日の行動を過去形で話す。 ・ペアで「昨日の出来事」について質問と答えの練習（例: What did you do yesterday?）。	第35回　経験を伝えよう ■～したことがある（経験） 第36回　以前から今まで ■以前から今までの行動を説明できる 第37回　後ろから説明しよう ■～thingを後ろから詳しく説明する		
			3 4		第38回　意見を詳しく伝えよう ■thatの後で思いを詳しく言える 第39回　気持ちを詳しく伝えよう ■thatの後でうれしい理由が言える		

1			1 2	⑲～㉒ **＜第16講座　be動詞の過去形＞** P.32-33の解説及び 問題演習行う。以下の項目について理解を深める。 ・be動詞の過去形（was, were）の役割と使い方を理解する。 ・be動詞の過去形（was, were）とその意味（例: ～だった、～にいた）。 ・主語による使い分け： 単数（I, he, she, it → was） 複数（you, we, they → were）。 ・肯定文の構造：主語 + was/were + 補語（例: I was happy. They were at school.）。 ・否定文の構造：主語 + was/were + not + 補語（例: He was not here.）。 ・疑問文の構造：Was/Were + 主語 + 補語?（例: Were you at home yesterday?）。 応答の練習：Yes, I was. / No, they weren't.。 ・過去の自分の感情や状況を説明する（例: I was tired yesterday.）。 ・他人の過去の状況を尋ねる（例: Where were you last weekend?）。	第40回　「いつやるか」を伝えたい ■whenを使って「いつやるか」が言える	第6回 オンライン学習サポート動画 第6回レポート範囲 配信	年度末試験範囲（学習のしおりには以下のように記載しております。） 試験範囲：第１講座・第４講座・第７講座・第10講座 ➢各講座の要点のまとめ、練習問題、STEP問題、STEP　UP問題を復習してください。 ➢レポートではなくテキストを復習してください。 ➢テキストと出題形式や英文等が異なる場合がありますが、テキストがしっかりと理解されていればできる問題です。 ➢リスニング問題及び「→この問題はレポートでは扱いません。」とレポートに記載されている問題は出題しません。
			3 4				
2	第6回 2/10	be動詞の過去形 【リスニング】 be動詞の過去形	1 2				
			3 4				
3			1 2	㉓～㉔ **＜試験範囲の復習＞** ・be動詞（am, is, are / was, were）の使い方を理解し、肯定文、否定文、疑問文を作成する。 ・一般動詞の現在形・過去形を理解し、疑問文や否定文を含む文を作成する。 ・名詞の種類（単数形・複数形）と使い方を理解する。 ・主格・所有格・目的格の代名詞及び所有代名詞を適切に使えるようにする。 ・疑問詞（what, who, where, when, why, how）を使った疑問文を理解し、作成・応答できるようにする。			
			3 4				